

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成23年11月28日
第773号

〒952-1209 佐渡市千種155

Tel : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX : 4117

<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp



もうすぐ師走を迎えます。今年は、どの学校も「危機管理」について深く考え、行動した一年だったと思います。同時に、自然がもつ大きなエネルギーに圧倒されました。

どっしりと横たわる大佐渡山脈は、いつものように雪化粧が色濃くなる時期を迎えています。

耳と鼻の関係

佐渡総合病院耳鼻咽喉科
太田久幸

耳と鼻は耳管(じかん)という管で繋がっており、密接に関係しています。特に小児の場合には、耳管が成人に比べ短く、太く、より水平に位置しており、鼻汁や細菌などが鼻から耳へと移行しやすい状態となっているのです。その影響で小児は中耳炎になりやすく、感染や難聴の原因にもなってくるのです。そこで、耳を守るためにも鼻の治療が重要となってきます。特に小児の場合は、鼻の症状を自分で訴えることが少ないため、親が子供のサインをみつけてあげることが大切です。鼻汁が出るのはもちろんですが、その他のサインとしては、①口をあけている、②いびきをかき、③鼻をすすり、④鼻をいじるなどがあげられます。また、鼻を上手にかむことも大事なことです。コツは、①片鼻ずつ、②ゆっくりと、③やさしくかむことです。強くかみすぎると、耳に悪影響をおよぼすことがあるので注意が必要です。

子供の観察をよく行い、鼻の症状が長く続く場合には、一度耳鼻咽喉科を受診されることをおすすめします。



「当たり前にできること」の大切さ

日本LD学会の講演会で、東京都文京区立柳町小学校の取組が紹介されました。柳町小学校は、特別支援教育を学校運営の柱とし、学校力向上を目指しています。

特別支援学級の児童が学校で過ごす映像からは、障害のあるなしにかかわらず、共に成長している姿が見られました。「みんななじみの人って感じ。障害を個性だと思えばいいんじゃないの。」と、当たり前のように答える子どもたちの笑顔。「その時その時の支援だけではイタチごっこに陥る。担任が代われれば、また振り出しにもどる。学級経営や授業を改善することで8割の子は救える。私は教師のハートに火を付けるチャッカマン。」と熱く語る校長の言葉が印象に残りました。

「あいさつをする」「ありがとうと言う」「人の迷惑になることをしない」「ルールを守る」という、私たちが日頃から当たり前のこととして指導するように、柳町小学校では一人一人の子どもたちの自尊感情を育む授業が当たり前のように実践されていました。

今一度、問題点ばかりを見つめずに可能性に焦点を当て、「当たり前のこと」ができる子どもを育てていこうと思います。(山口)

親の会コーナー



会員の声 No.47

「親子横ならび」 W. K

息子は、5歳。3歳の頃からことばの教室に通い始めました。その頃の息子は、何事も自分から進んでやろうとせず、親である私たちも、何とかやらせようと無理強いしていたような気がします。周りの人たちからは「ゆっくりでいいんだよ。」など、たくさんの助言をいただきましたが、やはり親の私自身に心の余裕がなかったのだと、今になって思います。

息子は今、ウルトラマンに夢中になっています。自らペンを持ち、絵を描いているのを見たときには感動しました。これも教室とウルトラマンのおかげです。子どものペースで進んでいくべきところを、つい親の思いだけが先走ってしまい、空回りばかりしていました。子どもと一緒に視線、そして一緒に歩幅で歩いていくことが大切なんです。



お知らせ



第2回運営委員会が開催されました

第2回運営委員会が、11月21日（月）に金井小学校で行われました。

今回は、事業・予算の中間報告と来年度の計画等について話し合われました。委員の皆様からは、当教室の運営について貴重な御意見をいただきました。

委員の皆様、大変ありがとうございました。

「なかよしチャレンジ」の御案内

佐渡ことば・こころの教室では、小集団でソーシャルスキルを学習する機会として、「なかよしチャレンジ」を計画しました。この時期、給食後下校となる小学校が多いようです。平日の放課後の時間になりますが、多数の御参加をお待ちしています。

- ◆日時 平成23年12月21日（水）15:00～16:40
- ◆会場 金井小学校（佐渡総合病院隣）
- ◆内容 グループの友達と協力したり、コミュニケーションを取ったりしながら、各教室のゲームや遊びに参加する。